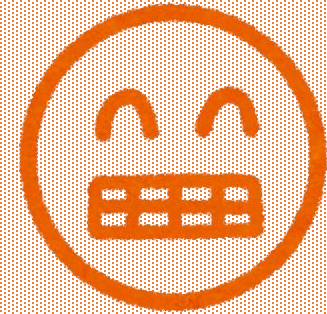


六郷助けあいプラットフォーム

話し合いの場



平成30年1月8日(火)

本日のタイムスケジュール

時間	内容
18：30	前回の話し合いのふりかえり
18：35	アイスブレイク（新年の抱負）
19：00	これまでのふりかえりと説明
19：10	グループワーク
19：30	休憩
19：35	お知らせコーナー
19：45	グループワークの続き
20：15	話し合いのまとめ
20：25	次回勉強会のお知らせ
20：30	終了

六郷助けあいプラットフォームの趣旨

六郷地域で活動する団体（者）どうしの顔の見える関係づくり、そして地域の福祉課題を解決するために連携が取りやすい環境（土台）をつくるのが目的です。

そのため、地域のニーズや実態把握、必要なことを議論する「話し合いの場」と活動において必要な知識を深めるための「勉強会」を実施し、団体同士の課題等の認識や目的を共有します。

また、そのことによって把握できた「地域に足りない機能」や「手伝ってほしいこと」などを明確化することによって、「必要な取り組みの創出」や「人材の確保」をめざしていきます。



◆開催頻度・・・月1回程度

◆開催日・・・毎月第1火曜日の夜6時30分から

◆会場・・・六郷地域力センター4階会議室

◆対象者

六郷で福祉に関する活動などを行っている方で、子どもの課題解決にご関心のある方

◆今後の参加者

参加者の口コミで徐々にメンバーを増やしていく。

◆地域外の参加

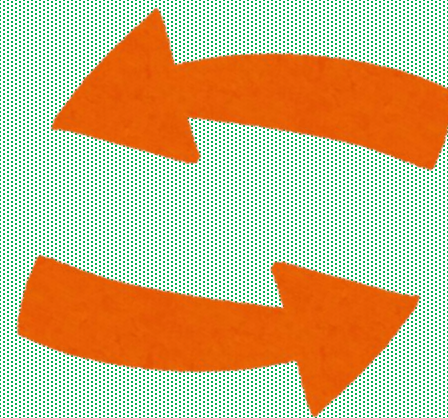
場合によってはゲスト扱いで参加や見学もありとする。

話し合いのルールについて

- ① 誰かを批判する発言や、その課題が誰のせいなのか追及しないようにしましょう。
- ② 必ず発言をしましょう。
- ③ お互いの活動の違いを理解しましょう。
- ④ この集まりで共有した課題や情報は、地域のために活用しましょう。

年間スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
話し合いの場 ＜ニーズ把握＞	45名	24名		20名			23名		○		○
勉強会 ＜インプット・ リソース把握＞			24名		中止	31名		20名		○	



ホームページにてお知らせします！



コチラからホームページにアクセスしてください。

● 平成30年度

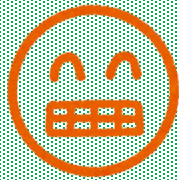
毎月第1火曜日の18時30分からおよそ2時間実施します。会場は、六郷特別出張所4階会議室です。

※下記日程と内容は、変更になる場合があります。その際は、このページでお知らせいたします。

実施日	実施内容	実施状況
5月8日(火) 18時30分～	平成29年度の報告会	参加者43名 資料(PDF)
5月8日(火) 19時15分～	話し合いの場	参加者45名 結果報告(PDF) 資料(PDF)
6月5日(火) 18時30分～	話し合いの場	
7月3日(火) 18時30分～	勉強会	
8月7日(火) 18時30分～	話し合いの場	
9月4日(火) 18時30分～	勉強会	

今後、こちらに会議の結果などを掲載していく予定です。





平成29年度の話し合いで明らかになったこと

見えてきた課題の本質

子ども

- 子どもの実際（コミュニケーション方法・遊びなど）がわからないことが多い。
- 「わからない」ということも地域の課題である。

支援者

「個人情報保護」は壁ではなく、「個人情報をどう使い、管理するのか」の情報が共有されていないことが不安につながっている。ただし、本人同意を得ることは容易ではない。

親・家庭

- 必要なのに相談できない人、孤立している人が相談できる仕組みが必要
- SOSが出せる地域づくりが必要

人材

- ライフスタイルが変わってきていることをとらえられていない。
- 手伝ってほしいことが明確にできていない。
- 今までのやり方を変えるのは大変である。

連携して取り組めること

- 支援者側がしっかりニーズを把握する。
- 支援者と支援されるの関係ではない交流の場、機会をつくる。
- いろんな側面の個人情報保護を勉強する。
- 助けあいのルールづくり
- 出来ないことを明確にした求人募集
- 知らない団体とももっと関わりを持つ

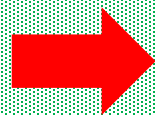
地域に足りない機能【募集掲示版】

- 子ども食堂や学習教室
⇒目的をきちんともったもの
- インターネットに関わるしくみ
- 親・子と地域が知り合える環境
- SNSやネットによる情報発信機能

六郷助けあいプラットフォームが必要な背景



時代の変化



人々の生活が変化

ライフスタイルの変化・多様化
インターネットの普及、店舗の
充実、家庭用電化製品の進化、
核家族化、単身世帯の増加

社会環境の変化

少子高齢、日本の人口減少



生活が便利になる一方で…

昔は当たり前だった助けあいが希薄化
し、サービスは、行政や企業から受け
るものという感覚が。。。
地域や人に対する関心が薄れている。

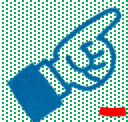
福祉課題の変化

子どもの貧困、ダブルケア、8050問題



丸ごと受け止める必要性

我が事が必要



これまでの話し合い
でもココが肝！

福祉の課題は複雑化し、一つの分野・団体だけでは解決は困難になってきた。
人口が減る中、福祉の人材不足も。サービスが今後担えるかが問題に。。

このため、我が事・丸ごと「地域共生社会」づくりが必要

新年の抱負を考えよう！

記載時間：3分 グループ内で発表（15分）



これまでの話し合いのポイント

地図で状況把握



地域だからこそ出来ることとは？



◎見えてきたこと

- 公園に子どもたちが多く集まっている。
- でもその公園で子どもを見守るしくみが少ない。
- その地域、世代ならではの集まる場所がある。
- 地図には表れないことたちに実態が見えない。

◎見えてきたこと

- 大人が楽しそうに活動をしていることが町の良い雰囲気をつくる。
- 何か地域のためにやりたがり思っている人は結構いる。でもなかなか入るのが難しい。

アイデアを整理

- ◎住民がSOSを出しやすく発見しやすいしくみ
- ◎地域活動に参加しやすいしくみ
- ◎まちに関心をもってもらうしくみ

上記3つのしくみを整備することが課題解決の最初の一步

しくみが整うために必要なことを考察

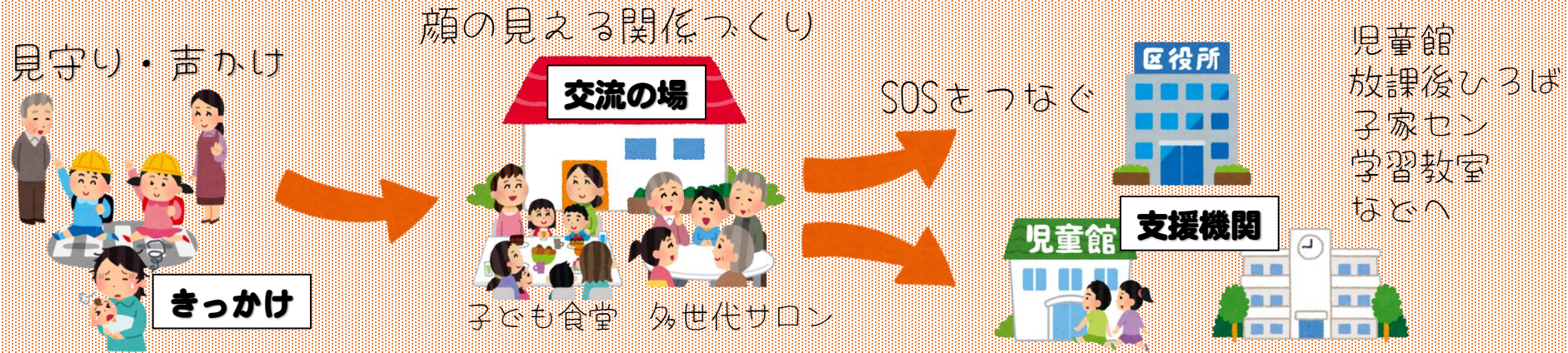
- 「交流の場」を地域住民が作ることによって顔のみえる環境を整備できる。
- 子どもや知り合いなど誰かと一緒なら参加しやすい。
- 子どものころからの関係づくりが大事。

しくみを整えるために必要なことを試行錯誤しながら進めていく。

①住民がSOSを出しやすい、発見しやすい“しくみ”

“しくみ”が整う条件

地域の「交流の場」で顔の見える関係づくり



現状の見守り声かけの活動

- 公園での見守り(プレイパーク活動)

さらに

もっとこの活動が増えていくと公園が安全になる。

交流の場の創出

- 元そば屋のスペースの活用
 - ポジティブさんがスペース活用を検討。
 - 地域に根差した活動にしたい。
 - 収入源**として、配食サービスもしたい。
- 六郷ハートボックスの活動
 - 町会会館や商店街のお休み処を使ってイベントを実施。
 - 課題は、拠点がないこと、**収入源**がないこと

ポイントは子どもの頃から育てるその機会を地域につくること！

②地域活動に参加しやすい“しくみ”

“しくみ”が整う条件

届く情報発信と受け入れの両方の整備が重要！



現状の情報発信

- 自治会町会の掲示板や回覧板
- NPO等は、区のオーちゃんネットや社協のHPを活用
- SNSやブログ、広報誌を活用している団体も。

でもなんだかんだ言って、**アナログが強い**
(口コミカ)←知り合いから知り合いに
対面で渡すと効果あり！

人材の発掘・育成

- 新しい人は何が不安か？
→一度足を入れると抜け出せない。入る余地があるのかわからない。
- どんな受け入れだったら入りやすいか？
→子どもと一緒に入りやすい。
→体験入門
→育てながら代替わりも考える必要がある。
→イベントなどで焼きそば、もちつきなどの明確な役割がある。
→中学生ぐらいから育てる(ボランティア体験)+その親もセットで参加！

①のしくみとの共通点は、「子ども」+「つながり」+「育成」

本日の話し合い（試行錯誤編）

収入源の課題について共有しよう！

「実施計画書づくりのシミュレーション」

六郷助けあいプラットフォーム
交流の場の実施計画書（シミュレーション）

交流の場の名称						
対象者						
目的						
活動内容						
スケジュール						
月	火	水	木	金	土	日

六郷助けあいプラットフォーム
交流の場の実施計画書（シミュレーション）

収支計算書				
収入の部				
費目	単価	数量	金額	備考
支出の部				
費目	単価	数量	金額	備考
家賃	50,000	1か月	50,000円	
光熱水費	15,000	1か月	15,000円	

未就学児におすすめ！親子同伴でお越しください

六郷ハートボックス PRESENTS

12月・祝 10時30分 から 12時

10時受付開始

12/24 サンタが やってくる！

“子どもあとのしみ会”

in 東六郷二丁目町会会館

①あそびのコーナー
あなひ、こかなつり、マトあて、ボーリング
サンタのお面づくり

②サンタと記念写真
サンタさんと記念写真と数量限定さ
しプレゼントもあるよ！

③ハンドベル&
みんなであたを歌おう

10時00分
より受付
スレゼント
限定
3日

六郷ハートボックスとは
私たちが何か出来ることはないかと地域の神
井戸福会を聞いて始まった団体です。身近で
安心できる居場所、コミュニティの再生を
私たちに、アイデアを持ち寄り活動し
ています。一緒に活動する仲間も募集
主催：六郷ハートボックス 共催：東六郷二丁目町会（社福）



サンタのお面づくり



的あてゲーム



ボーリングゲーム

参加者127名
(子どもは67名)



さかなつりゲーム



サンタからプレゼント
& 記念撮影



ハンドベルの演奏とみんなで大合唱



初の試みで
募金を実施

収入について考えよう

<地域活動など非営利活動における収入>

収入源①

「**対象者**から得る」

例) 参加費など

収入源②

「**支援者**から得る」

例) 寄付、会費など

収入源③

「**他事業**から得る」

例) バザー売上
レンタルBOXなど

◎募金活動をする際に考えること

- ・募金活動をする団体の概要を明らかにする。
(団体名・所在地・責任者・連絡先)
- ・募金方法を決める。
(お金の集め方や領収証の取扱い)
- ・使用内訳について決める。
(何に使うか、経費も募金で賄うのか)
- ・会計報告をどのようにするか。
(どうやって報告するのか、何にいくら使ったのかなど)

次回は、2月5日（火）18時30分から

勉強会：他の団体を知ろう

（テーマ）（案）

「公園で子どもたちを見守る活動」

～プレイヤー活動～

講師：もっと遊べる五丁目公園の会 など

を行う予定です。

どうぞよろしくお願いいたします！